

POWER SUPPLY INSTALLATION

弊社電源ユニットをご利用頂き、誠に有難う御座います。弊社電源ユニットを取り付ける前に、お使いのパソコンケース、マザーボードの説明書を併せてご覧になったうえで、この取り扱い説明書をお読みになり正しく接続してください。

※全てのコネクタは無理に差し込まない限り、間違った方向では差し込みが出来ないようにしておりますが、互換性のあるデバイスについては簡単に接続出来るように設計をしております。取り付けの際はケーブルの種類、コネクタの向きが正しいかを確認しながら行ってください。

※本マニュアルで使用している写真・イラスト等は、イメージになります。

【本製品を取り付ける前に】

本製品の取り付けの際は、作業スペースの確保及び、別途作業手袋等をご用意頂くことをお勧めします。

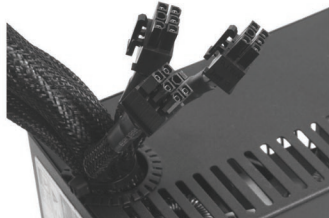
注意点など

【取り扱い上の注意】

- 本製品及び付属品品の保管につきましては、小さなお子様の手の届かないところに保管をお願いします。
- 取り付けの際には、本製品及び、PC内部の突起によるケガにご注意ください。
- 付属のケーブルは本電源専用品になりますので、他の製品には使用しないでください。
- 危険ですので外蓋カバーを外したり部品交換等をしないでください。

セミプラグインコネクタについて

本製品には3本のセミプラグインコネクタがあり、付属のプラグインケーブルを必要に応じて接続使用できます。

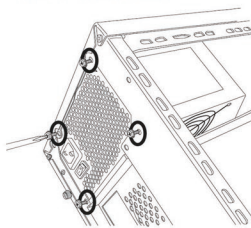


※差し込み口の形状や向きを確認してから、ケーブルを差し込んでください。無理に差し込んだり、違う場所に差し込んでしまうと機器が破損する恐れがありますのでご注意ください。誤った接続による故障は保証の対象外となります。

ケースへの取り付け

電源ユニットをケースの所定の場所に置き、ネジ止めしてください。

※ご使用になるパソコンケースによって電源ユニットを取り付ける場所が異なりますので、パソコンケースに付属されているマニュアルを参照ください。



各機器への取り付け IDE DRIVE / S-ATA DRIVE / FDD POWER

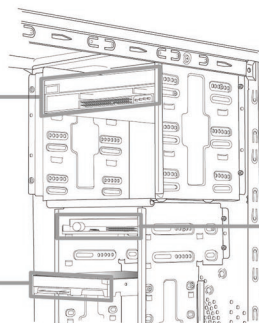
④IDE DRIVE

左記図の各ドライブの取り付け位置は一例になります。

※ご使用になるパソコンケース・各機器により、取り付け場所や方法が異なりますので、各機器の仕様に合わせてご使用ください。

⑥FDD POWER

⑤S-ATA DRIVE



① ATXメイン

ATXメイン(20ピン)



マザーボード側のATXメインコネクタが20ピンの場合



電源側 ATXメイン (20ピンのみ使用)

ATXメイン(20+4ピン)



マザーボード側のATXメインコネクタが24ピンの場合



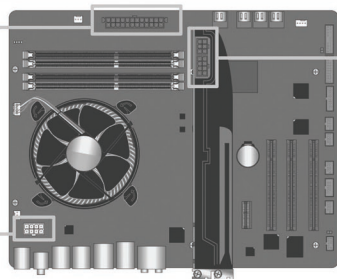
電源側 ATXメイン (20+4ピン)

ケーブルが20ピンと4ピンに分割されています。20ピン及び24ピンマザーボードに対応しています。

※20ピン対応マザーボードを使用される場合、分割時の4ピンケーブルは使用しません。他の場所に差し込みますと機器が破損する恐れがありますのでご注意ください。

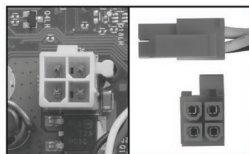
①ATXメイン

②ATX12V/EPS12V

③PCI-E
グラフィックスボード

② ATX12V / EPS12V

ATX12V(4ピン)



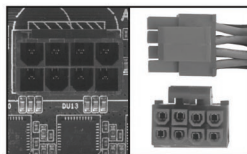
マザーボード側のATX12V (4ピン) コネクタ形状



電源側 ATX12V (4ピン)のみ使用

●ATX12V対応マザーボードを使用する際は、4ピンのみを差して使用します。
※グラフィックスボード(PCI-E)に接続しないよう、ご注意ください。
グラフィックスボードが破損する恐れがございます。

EPS12V(4+4ピン)



マザーボード側のEPS12V (8ピン) コネクタ形状

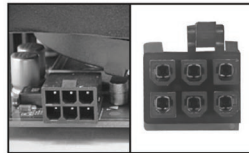


電源側 EPS12V (4+4ピン)

・EPS12V対応マザーボードを使用する際は、4+4ピンを差して使用します。
※グラフィックスボード(PCI-E)に接続しないよう、ご注意ください。
グラフィックスボードが破損する恐れがございます。

③ PCI-Eグラフィックスボード

PCI-Eグラフィックスボード(6ピン)



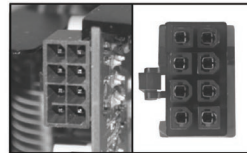
グラフィックボード側の電源コネクタが6ピンの場合



電源側 PCI-E (6ピン)

※グラフィックスボードの種類により、接続コネクタ自体が無い場合もございます。
※マザーボードのATX12Vコネクタ、EPS12Vコネクタに接続しないよう、ご注意ください。マザーボードが破損する恐れがございます。

PCI-Eグラフィックスボード(8ピン)



グラフィックボード側の電源コネクタが8ピンの場合



電源側 PCI-E (8+2ピン)

※グラフィックスボードの種類により、接続コネクタ自体が無い場合もございます。
※マザーボードのATX12Vコネクタ、EPS12Vコネクタに接続しないよう、ご注意ください。マザーボードが破損する恐れがございます。

④ IDE DRIVE / ⑤ S-ATA DRIVE / ⑥ FDD(フロッピードライブ) POWER

IDE DRIVE



ドライブ側のコネクタ形状

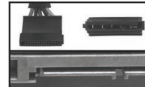
電源側 ペリフェラル4ピンコネクタ



IDE、Serial ATA機器(HDDやCD-ROMドライブ等)にドライブケーブル、Serial ATAケーブルを差し込んでください。

ご使用になる電源の種類によってコネクタの差し込み口数やコネクタ形状が異なります。
※差し込み口の形状や向きを確認してから、ケーブルを差し込んでください。無理に差し込んだり、違う場所に差し込みますと機器が破損する恐れがあります。

S-ATA DRIVE

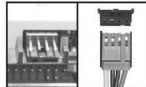


ドライブ側のコネクタ形状

電源側 Serial-ATAコネクタ



FDD(フロッピードライブ) POWER



FDD側のコネクタ形状

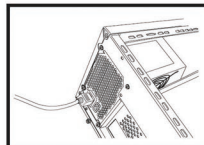
電源側 FDD Powerコネクタ



FDD(フロッピードライブ)用電源コネクタ搭載機器にFDD Powerケーブルを差し込んでください。

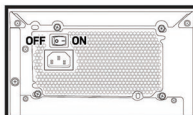
※逆差しやピンがずれた状態での接続をしないように気を付けてください。機器が破損する恐れがあります。
※マザーボードには接続しないでください。

電源ケーブルの接続



コネクタの向きをご確認の上、電源ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。
接続が不完全ですと、パソコンが起動しなかったり、機器が破損する場合がございます。

パソコンの起動



電源ケーブルの接続したのち、再度コネクタ類の確認を確認してください。
電源ユニット背面のパワースイッチを「ON」に切り替え、パソコンを起動させます。

FAQ

Q: ATXメイン(20+4ピン)のコネクタで線が1本欠けている

A: ピン番号20番(-5V)用の配線は現行の規格では不要とされているため、除外されておりますので問題ありません。

Q: 電源背面の主電源をONにしても電源内部のファンが回らない
A: 本製品の内部ファンは各種配線後に主電源をONにし、PCケースのパワースイッチを押してはじめて動作する仕様となります。

Q: OATップ等を使用してもよいのか

A: OATップをご利用になった場合、供給電圧が不安定になる恐れがございますので、直接壁側のコンセントにACケーブルを接続することをお勧めします。

Q: 電源内のファンの向きはどちらを向くのが良いのか

A: PCケースのレイアウトに従う形にてお取り付けください。但し、吸気のためのスペースが最低30mm以上空けて頂くことをお勧めします。

Q: 組み込み後のPCの設置場所はどこでも良いのか

A: 電源背面より排熱されますので、熱がこもるのを防ぐため可能な限りスペースを確保して頂くことをお勧めします。弊社での推奨は30cm以上となります。

Q: BIOS上で12Vの電圧が11.90V以上出ない、不具合か

A: PowerSupplyFormfactorsの定める電圧の規定範囲が+3.3V / +5V / +5VSB / +12Vが「±5%」、-12Vが「±10%」になりますので、範囲内の電圧出力であれば正常動作となります。

規定範囲: +3.3V(±5%) → 3.13~3.46V

+5V(±5%) → 4.75~5.25V

+5VSB(±5%) → 4.75~5.25V

+12V(±5%) → 11.4~12.6V

-12V(±10%) → 10.8~13.2V